（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別の禁止についての方針が社内規定(就業規則等)などで定められている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントの禁止について周知するための活動をしている（朝礼等）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎朝の全体朝礼、作業管理掲示板などを利用し、作業の効率化により、適正勤務時間の順守に取り組んできた。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】現在外国人労働者の雇用はないが、外国人労働者に対する人権尊重、差別の禁止についての方針が企業理念や社内規定(就業規則等)などで定める				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	ISO14001運用の中で、指定溶剤の取り扱いや作業手順の標準化を図ることで労働環境の整備維持に取り組んできた。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	労働時間内に午前(20分)、お昼(60分)、午後(40分)の休憩時間を設定。また、有給消化の推進などで、労働者のリフレッシュタイムを設定。 【予定】メンタルヘルス疾患に対応した規定の整備			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性パート社員の正社員登用、女性社員の営業職登用、そして定年を迎えた社員の継続雇用などを推進。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	メーカー主催の研修会への参加など新しい技術や技能習得の機会を積極的に設けてきた。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	各部門ごとに能力給制度を導入。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	年間1回の社内健康診断の実施。 【予定】協会けんぽの「健康づくりチャレンジ宣言」を行い、健康経営優良法人認定制度の認証取得			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	ISO14001運用の中で、マニフェスト管理等取り組んできた。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エネルギー使用量についてはISO14001運用の中でインプットアウトプット表にて管理。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	省エネ・温室効果ガス削減の取り組みを実施(LEDライト使用等)							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	ISO14001運用の中で現場で使用している化学物質の仕様書を入手し、リスト化し把握する取り組みをしている。 また、法令等で規制されている有害化学物質の使用量を把握し、代替物への変更を推進し、削減に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	ISO14002運用の中で水質調査などを実施し、把握する取り組みをしている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	ISO14003運用の中で通い箱や梱包材の再利用による納品などの取り組みをしている。 また、生産や事務業務等で発生する資源利用の削減、再利用、再資源化を進めている												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14004運用の中で水質調査を行い把握し、取り組み。 また、年一回のインプットアウトプット調査により、自社の水使用状況を把握し、使用量の削減に努めている。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001認証取得済み			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ISO14001の環境方針にて明示												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギー、グリーン電力を導入する							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001運用の中で天然資源の積極的活用を推進												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	舞月1回開催の「営業･PDグループミーティング」で周知徹底																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	舞月1回開催の「営業･PDグループミーティング」で周知徹底																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	PDグループにおけるサーバー内の厳格管理に努めている								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社内サーバーを分け、特に個人情報の厳格管理が必要とされる事柄については、外部ネットワークを遮断したPCにより管理。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001の協力要請文章にて仕入れ先、外注先には周知徹底を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	毎月1回開催の「営業･PDグループミーティング」で受注制作納品を行った事例を取り上げ、さらなる向上への取り組みを行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	毎月1回開催の「営業･PDグループミーティング」で受注制作納品を行った事例を取り上げ、さらなる向上への取り組みを行っている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001の各項目に合致した製品の制作に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	コロナ禍において注目されるようになった「消毒液」のボトル下に敷く液体飛散マットを開発。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	観光県とされる長野県に所在する企業として、翻訳事業などインバウンド需要の取り込みなどの提案を行うことで、地域貢献を図ってきた。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	昨年末、一般的な配布数が年々減っているカレンダーを200本、須坂市、小布施町、高山村の各社会福祉協議会へ寄付し、保護世帯などへの配布をしていただいた。また、「消毒液マット」を須坂市へ寄贈。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域の原材料（手すき和紙など）を優先的に活用している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	企業理念と経営方針を策定し、社内掲示などをしている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	ISO14001内で「法令順守チェックリスト」を作成し管理運用に利用している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	毎月１回開催の「営業・PDグループミーティング」で周知徹底																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	営業活動（受注・制作・納品）の中でレビューを行い、全体朝礼やミーティングにおいて情報共有することで、常に改善の姿勢を以て望むように努めている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO14001内の「緊急事態マニュアル・連絡網」によるリスクの洗い出し・評価を行い、自社にとって重要なリスクを特定し、必要な対策を講じている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ISO14001内に「要望苦情シート」を設定し、社内共有している。 【予定】CSR方針や規程が定める																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】ISO14001内に「緊急事態マニュアル・連絡網」を設定し、社内共有しているが、今後、それを基に発展させたBCP（事業継続計画）を策定、事業継続力強化計画認証取得する									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】現在、未策定であるが、今後作成を検討								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）